

まちまど（洋光台 まちの窓口）の活動実績等について

2020年5月
UR都市機構 神奈川エリア経営部
(運営受託) HITOTOWA INC.

1

まちまどについて（目次）

・ まちまど ① 概要	P3
・ まちまど ② 目的と実現したい状態	P4
・ これまでの活動実績 ① 取り組み開始 1 年の歩み	P5
・ これまでの活動実績 ② 窓口での情報発信	P7
・ これまでの活動実績 ③ HP・SNS等による情報発信	P8
・ これまでの活動実績 ④ 地域活動への参加・運営・取材	P10
・ これまでの活動実績 ⑤ まちまど参考事例の見学会	P11
・ これまでの活動実績 ⑥ 来場者の実績 -属性-	P12
・ これまでの活動実績 ⑦ 活動の成果等	P14
・ まちまどの課題の整理	P16
・ 今後の可能性 ① 洋光台周辺団体の現状	P17
・ 今後の可能性 ② 地域の関係案内所	P18

2

まちまど ① 概要

- エリアマネジメントの担い手として、地域の情報収集・発信拠点の役割を担う「まちまど（洋光台まちの窓口）」を2019年5月より試行的に立ち上げ。
- 行政、地域住民と連携して2012年度から取り組んできたエリア会議について、2021年度からまち主導の体制への発展・継続を目指す。

まちまど

【洋光台 まちの窓口】

5月25日 土

OPEN!!

お気軽にお越し下さい！

たくさんの素敵な活動と頼りになる方がいる洋光台。
まちまどは、まちとあなた、あなたと活動、活動と活動をつなぐお手伝いをします。

1 まちまどの取り組み

まちの活動・情報受付

まちの活動がわかるチラシコーナーを設置しています！ご提供頂ける方は、ぜひぜひお待ちしております！

2 まちの相談受付

何か面白い活動はないかな？こんなことやってみないけど、どうしたらいいだろう？お気軽にまちまどへご相談ください。

3 まちの情報発信

まちの情報や様々な活動を、まちまどやSNSで発信します！

【ありがとうの掲示板】

洋光台でおこった様々な「ありがとう」エピソードを募集・発信します。
★「ありがとうの掲示板」は平成27年に洋光台の小学生が『環境絵日記展』に応募したアイデアを実現したものです。

営業日時と場所

火 水 木 金

10:00 ~ 17:00

営業時間内に地域での活動に参加する場合はまちまどを一時閉めて参加します。
土・日・月・祝祭日はおやすみ
夏季・冬季・臨時休館あり

Facebookに情報を発信しています
ぜひご覧ください！

※詳細はまちまどホームページにてご確認ください。
※まちまどは洋光台エリア会議から生まれました。運営実務者：HITOTOWA INC.

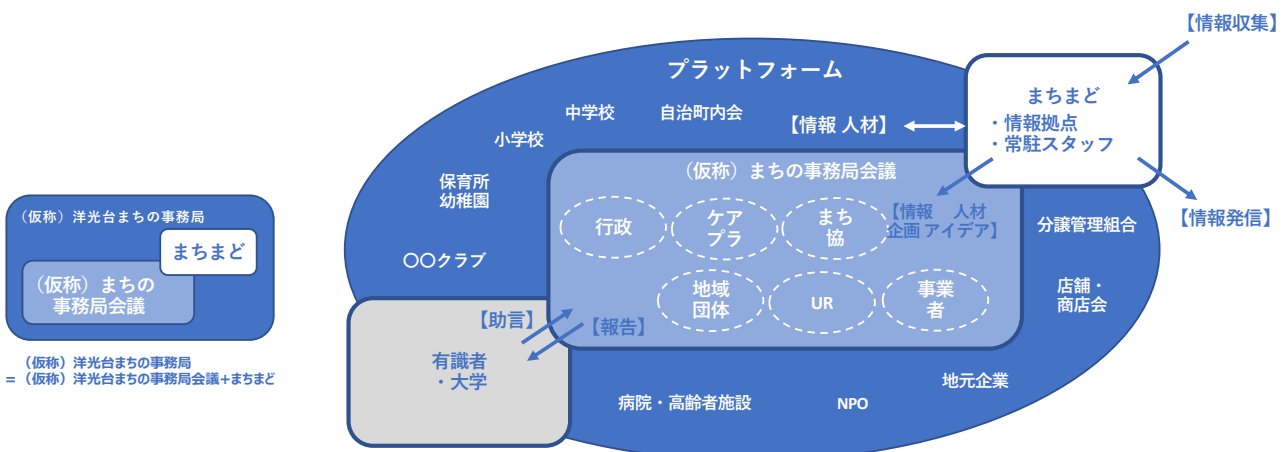


3

まちまど ② 目的と実現したい状態

■ まちまどの目的

- 団地を核とした、地域との連携で取り組むエリアマネジメント「（洋光台エリア会議→）（仮称）まちの事務局会議」の窓口として、子どもの流出抑制や若年世帯・子どもの流入促進（一度流出した子どもの帰還も含む）情報収集発信を行い次世代の地域の担い手発掘を目指すこと。



図：まちまどが目指す体制

■ 実現したい状態

- （仮称）まちの事務局会議の役割は、洋光台地域の結びつき・一体感を高めることであり、まちまどはその窓口（コーディネーター）となり、洋光台のまちを代表した情報発信と窓口機関として地域の活動をフラットに受け付ける場となることを目指す。

4

これまでの活動実績 ①-1 取り組み開始 1 年の歩み（前半：4月～9月）

2019年度 まちまど活動実績

日常的な活動

- 窓口での情報発信
- HP・SNS等での情報発信
- 地域活動への参加・運営・取材

	イベント	内 容	その他の動き
2019年 4月	プレオープン		
5月	オープンフェスタ	顔はめパネル作成、チラシ作り、キャラクターネーミング、参加型ワークショップ（洋光台への想い）の実施	facebook立ち上げ
6月	トンボ池自然観察教室 まちまど企画会議 クラフトマルシェ企画会議 おにぎり会議 ■（ケアプラザ主催）	すいすいトンボ工作ワークショップのサポート "まちまどでやってみたいこと"の話し合い "2 F店舗合同でやってみたいこと"の話し合い 準備・運営のサポート	挨拶まわり
7月	コーヒーを美味しく飲んでみようの会	オリジナルイベントの企画・運営	カレンダー・棚づくり
8月	サマーフェスタ 🌻 夏の拡大プレイパーク	参加型ワークショップ（あなたの趣味）の実施 氷ーリング準備・運営サポート	今後のイベントについて企画
9月	防災身につく講座 📖	防災講座の受講	HP立ち上げ キャンドルナイト準備

5

これまでの活動実績 ①-2 取り組み開始 1 年の歩み（後半：10月～3月）

2019年度 まちまど活動実績

	イベント	内 容	その他の動き
2019年 10月	ぶらり途中下車の旅 🚗取材 キャンドルナイト洋光台 🕯️ Happyハロウィンin洋光台 🎃	撮影・放送 プレイパークブースの設置・見守り フォトスポット・スタンプラリーの準備・運営	ハロウィンの準備 instagram立ち上げ
11月	おにぎり会議 ■（ケアプラザ主催） クラフトマルシェ わっふる祭り（ケアプラザ主催）	準備・運営のサポート 参加型ワークショップ（洋光台の好きな場所）の実施 受付・足湯コーナー運営	わっふるまつり・ クラフトマルシェ準備
12月	クリスマスフェスタ 🎄 防災授業（洋二小4年） まちにわひばりヶ丘	ワークショップ（植物のモチーフ作り）の実施 運営サポート 見学・スタッフ交流会	クリスマスフェスタ準備
2020年 1月	発達障がい地域サポーター養成講座 📖	講座受講	今年やりたいこと→ 訪問先リスト作成 まちスポ見学準備
2月	まちスポ茅ヶ崎見学会 梅の里まつり*	見学・勉強会 梅トンボ工作ワークショップの準備・運営	梅の里まつり準備 リストアップ施設の訪問
3月	年表づくり	年表の作成	一年の振り返り
上記のほか、月に2度洋光台駅前公園プレイパークのサポート、月に1度わっふる会議（ケアプラザ主催）に出席			

6

これまでの活動実績 ② 窓口での情報発信

○窓口でのチラシパンフレット掲示・スタッフによる案内



洋光台の活動チラシの掲示・来場者の関心に合わせた活動案内



学校・部活情報の掲示

これまでの活動実績 ③ HP・SNS等による情報発信

○ホームページ・Facebook・Instagramでの活動・施設・イベント情報発信



まちまど ホームページの作成・情報発信

これまでの活動実績 ④-1 地域活動への参加・運営・取材

■ 地域の活動者との交流を通じて情報収集・発信

○まちまど内でのイベントの企画実施（まちまど企画会議 等）

子育て世代の関心をヒアリングする会の実施



団地イベントへの出店・ワークショップの企画



9

これまでの活動実績 ④-2 地域活動への参加・運営・取材

■ 地域の活動者との交流を通じて情報収集・発信

○地域イベント・活動への参加（ハロウィンイベント、プレーパーク、梅の里まつり、防災講座 等）

トボ池自然観察教室
工作会運営



拡大プレイパークの運営補助



地域の小学校で開催された“防災授業”への参加



10

これまでの活動実績 ⑤ まちまど参考事例の見学会

＜まちづくりスポット茅ヶ崎＞ 令和2年2月7日訪問

- まちづくりスポット茅ヶ崎は地元NPOと大和リースが協働で設立したNPO法人（現在は認定NPO法人）であり、大和リースより寄付をうけて、浜見平地区の地元組織や各施設や人のコーディネート、情報共有・発信を行っている。（寄付は自立するまで継続）
- まちづくりスポット茅ヶ崎では、部屋貸し（半分もOK）を行っているが、土日はふらっと来た人が入るように催し物も部屋貸しもせずに、なるべくフリースペースの状態にしている。



まちまどの活動に於いて参考にした点

- 他施設との連携
 - ・図書館・書店との企画連携等。
- 場を作り上げるプロセス
 - ・工事の段階から地域の人も参加ができる企画(左官作業)など、場所を地域住民と一緒に作り上げるプロセスと心のつかみ方。
- 新規住民呼び込みの工夫
 - ・会社員（平日の日中地域にいない世代）が参加しやすいイベントの実施（特にカフェ）。
 - ・内部の様子が誰でも分かる保育所や、多世代で同じ地域で生活できると思える福祉相談など、活動に工夫のある施設の充実。
- 空間の作り方
 - ・魅力ある雰囲気と空間。（自ずと老若男女が集う）
- 地域への入り込み方
 - ・事務局長が地域会議の取りまとめ役となっており、まちに入り込んでいる。

見学先と比較してまちまどに課題を感じる点

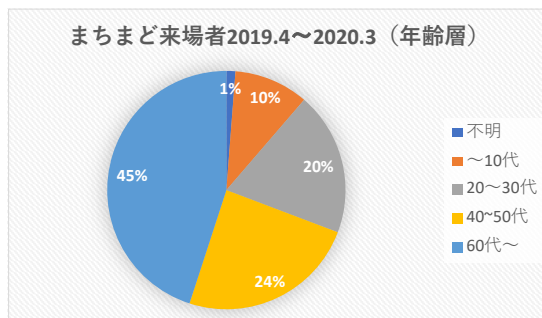
- ・収益のうち、カフェの売り上げが占める割合が高い。

11

これまでの活動実績 ⑥-1 来場者の実績 -属性-

① 来場者の年齢層

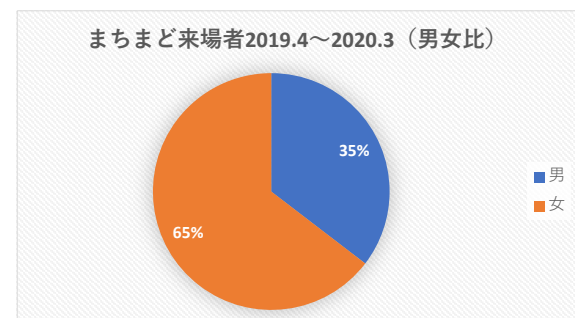
(n=2020)



※来場者数の多い洋光台フィットネス（月1回10数名参加）は、60代以上の参加者が大半を占める

② 来場者の男女比率

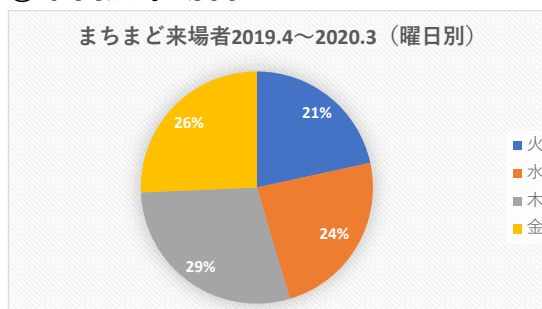
(n=2020)



※来場者数の多い洋光台フィットネス（月1回10数名参加）は、女性の参加者が大半を占める

③ 曜日別来場者

(n=2020)

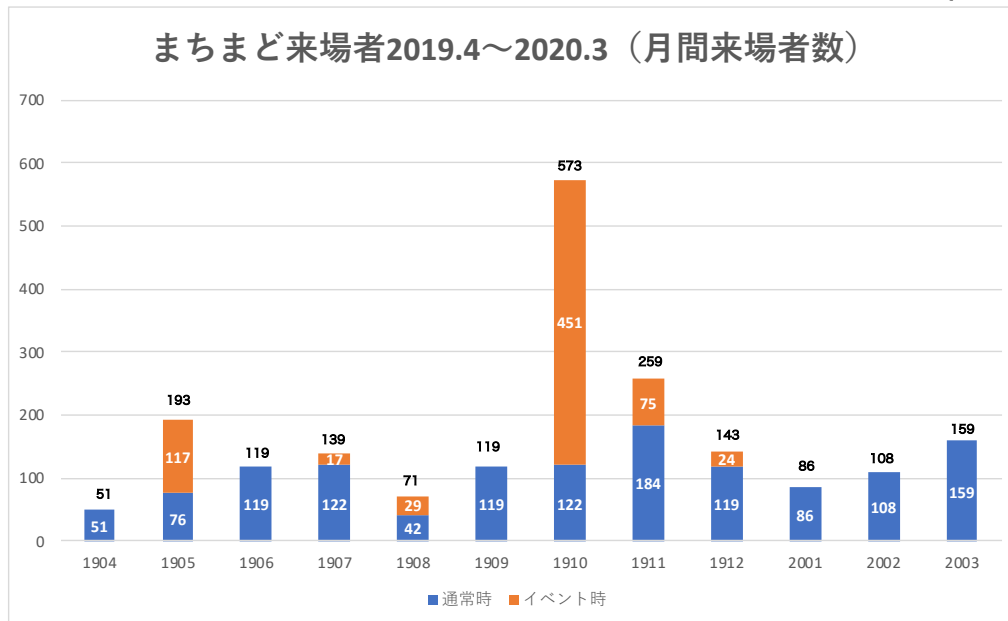


※来場者数の多い洋光台フィットネスは月1回、木曜日に実施

12

これまでの活動実績 ⑥-2 来場者の実績-月別来場者数-

(n=2020)



※イベント内容：

19年5月：オープニングイベント

（クラフトマルシェ オープンフェスタ（運営：新都市ライフホールディング）へ参加）

19年7月：自主イベント

19年8月：サマーフェスタ（運営：新都市ライフホールディング）へ参加

19年10月：Happy★ハロウィンin洋光台 フォトスポットの運営

19年11月：洋光台クラフトマルシェ（運営：新都市ライフホールディング）へ参加

19年12月：クリスマスフェスタ（運営：新都市ライフホールディング）へ参加

13

まちまどの活動実績 ⑦-1 活動の成果等

【団体等の来場】

SNSやホームページで発信している情報や口コミを元に、以下企業・団体・個人の来場あった。

- ・ぶらり途中下車の旅 制作会社（→TV取材）
- ・横浜シティガイド協会
- ・地域情報サイト「まいぷれ」
- ・東京都国際交流協会
- ・親と子のつどいの広場Kidsスペース マカナ
- ・お菓子作り講師（→CCラボ活用相談で来場・以後都度訪問）
- ・産後整体講師（→コミュニティハウスに訪問後、チラシを持って来場）
- ・洋光台第一小学校キッズクラブ（→訪問後、イベント相談で来場）
- ・地域活動支援センター「地域づくり塾」受講生（→活動アドバイスを求めている来場）

等

【継続来場者数】

- ・継続来場者（頻度：毎日の人から月1の人まで）は約20名程度（地域での活動者や、各町会役員）
- ・主にスタッフとのコミュニケーションのため来場。そのほかイベントの検索、イベント開催の相談報告を目的としている。

14

【新規来場者の変化・増加】

・洋光台へ転居して間もない方で、地域活動を探している方や仕事・スキルを活かせる場を探している方の来場が増加した。

例)

- ・30代女性(SNS→来場)： **仕事やスキルを生かせる場**・同年代の方と知り合える場の問い合わせ
→洋光台地域ケアプラザへ紹介
- ・30代女性(来場)： **子育て世帯の方と交流できる場**の問い合わせ
→子育てサークルを紹介
- ・50代男性(来場)： **サークル活動・地域の居場所**の問い合わせ
→音楽サークル・コミュニティカフェを紹介
- ・50代男性(来場)： **転居を検討**。
→洋光台の飲食店・生活情報を紹介

【来場者のマッチングについて】

訪問などにより様々な団体等と交流ができ、そこから**活動の問い合わせや新たな地域内の関係性に繋がった**。

- ・CCラボを利用するサークルや団体と継続的にコミュニケーションを取っており、**来訪者をサークル活動に紹介・マッチング**を行った。
- ・訪問ヒアリングで地域団体との関係性が深まり、**団体と、個人の活動希望者をマッチング**を行った。
- ・中央団地広場で開催のイベント時は積極的にまちまどをオープンした。

15

＜まちまど運営の現状課題と仮説＞

○現状のまちまどの課題

- ①受け取る情報の種類に限られる状況にある
- ②活動範囲が明確でないため、洋光台エリアでの活動者との棲み分けと協働ができていない
- ③自立運営のための収入源の確保

○仮説

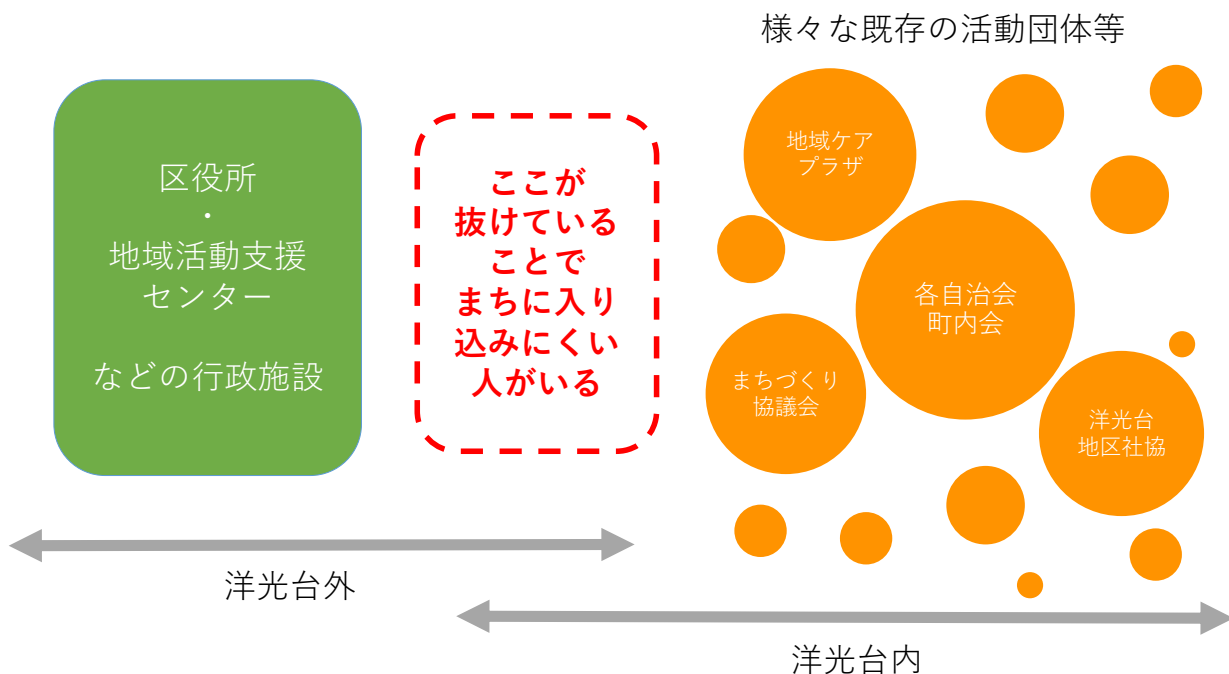
- ①地域の人に寄り添い、様々な情報を受け入れる仕組み（と空間づくり）が必要
- ②周辺団体と協働体制、・または周辺団体を包括する情報収集体制を築くかを明確にすることが必要
- ③自立運営のための収入源の検討が必要

16

今後の可能性 ① 洋光台周辺団体の現状

●洋光台周辺団体の住民への関りのフェーズ

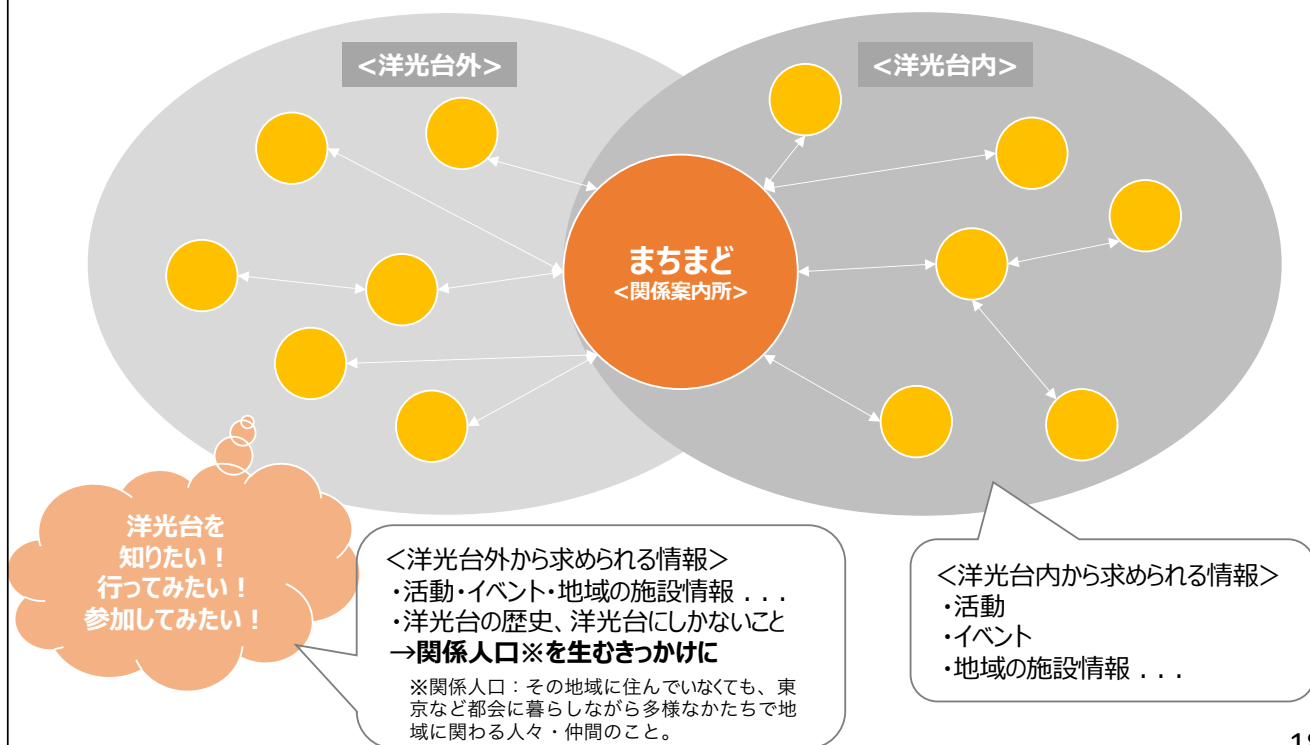
- 現状：既存団体は洋光台内で深く関係性を結びつける役割を担っている。
- まちまどの活動対象：転入の可能性のある人、転居後日が浅い住民、働く世代の住民（地域との接点がもちにくい人）



17

今後の可能性 ②-1 地域の関係案内所（概念）

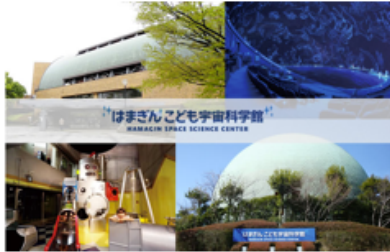
- “関係案内所”とは：人と人が自然に出会う場所。（一部では地方と都心部を繋ぐ役割を果たすもの。）
- 洋光台には魅力的な資源（関係人口を生み出せる素地）が数多くあり、それらは洋光台に暮らす人にとっても魅力のあることである。まちまどは、洋光台内外の人両方が、洋光台の魅力に気づける場所でありたい。



18

○洋光台の魅力的な資源を発信し、洋光台に関わる人を増やしたい。

洋光台の資源



（はまぎん こども宇宙科学館HPより）

はまぎん こども宇宙科学館
洋光台駅前公園 こどもログハウス
などの施設



数多くの地域主催の
サークルやイベントなどの活動



“団地の未来プロジェクト”
をはじめとした
建築空間とデザイン

○洋光台の魅力を生かした企画を実現したい
（検討中）例えば...

① ツアー

洋光台の魅力を伝えるツアー
スタッフや洋光台住民の方々が案内

エリアマネジメントツアーのほか
“建築めぐり”、“グルメツアー”
“ものづくりを巡る” など...
様々な視点・角度のツアーの可能性



（イメージ）まちにわ ひびりが丘 エリアマネジメントツアー

② 洋光台を伝える“洋光台博覧会”

まちまどに、洋光台の魅力を展示
地域の様々な資源と繋ぐ役割を果たす

洋光台の施設・活動・お土産等...を同じ目線で展示。
洋光台に来た方は、洋光台の魅力に気づき
洋光台に住んでいる方は、洋光台の魅力を再発見する
まちまどは、地域の繋がりを循環させる場所となる



（イメージ）d47 MUSEUM、d47 design travel store